



令和 7 年 3 月 1 日
目黒区立中央町保育園 園長

桜の蕾が少しずつ膨らみ始め、春の訪れを感じる季節になりました。今年度も残りあと 1 か月となり、5歳児クラスの子どもたちは卒園式を控え証書授与や歌などの練習に励んでいます。3、4歳児クラスも練習を見学し真剣な表情で5歳児の様子を見ながら「かっこよかった」「歌が上手だった」と感想を話していました。日頃から園庭での自由遊び時や行事などで交流している子どもたちですが、卒園式という厳かな行事の練習を通して3、4歳児は5歳児の凛々しい姿に憧れながらも自分たちはもうすぐ進級し大きいクラスになるということを意識し始めているようです。

0歳児から5歳児クラスの懇談会も終わり、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。ご家庭での様子を伺う中で改めて子どもたちの成長を感じたと共に、保護者の皆様で子育ての悩みに共感したり工夫したりしていることなどを共有できたことと思います。また看護師からのメディアについての話では、メディアに常に触れていることで依存に繋がる危険性があることを知り、子どもの脳への影響の怖さを実感したという声が多く聞かれました。大人が主導権を握り、身近にあるメディアを子育てに上手に使うていくことが必要であることを確認する機会になりました。子どもたちが友達や大人と関わる中でたくさん考えたり、豊かな経験をたくさん重ねたりしていけるよう、今後も保育を進めていきたいと思っています。

保護者の皆様には今年度も日頃の保育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

《今月の予定》

卒園式
ハープミニコンサート
お別れ遠足
移動日
お別れ会

中旬 避難訓練・身体測定

クラス移動日については
別途お知らせいたしますの
でご確認ください。

ひな祭り制作

1歳児クラスから5歳児クラスの作品を紹介します。



たけのこ組
(1歳児クラス)



どんぐり組
(2歳児クラス)



もみじ組
(3歳児クラス)



いちよう組
(4歳児クラス)



ぽぷら組
(5歳児クラス)



一年間の成長した姿



つくし組 (0 歳児クラス)

初めての保育園生活の中で一人ひとりが成長していく姿がたくさん見られました。春の頃は近くにある玩具に手を伸ばして遊んでいた子も“もっと楽しいものがありそう”“触ってみたい”など寝返りや這い這いをして取りに行ったり、“あっちにも行ってみたいな”とつかまり立ちや歩いて探索を楽しんだりする範囲が広がりました。泣いたり笑ったりと子どもたちの豊かな表情にも成長を感じています。子どもたちが色々な思いを出せるようになり、安心して楽しく過ごせていることが一番の成長です。



たけのこ組 (1 歳児クラス)

4月の頃は部屋に入るだけでドキドキしていた子どもたちも、今では好きな遊びを見つけて楽しんでいます。一人遊びを楽しむ中で、友達と関わるきっかけが増え、一緒に遊びたい気持ちも大きくなりました。自分の持っている玩具を渡すことで遊びたい気持ちを伝え、相手が受け取ってくれると顔を見合わせて笑い合っています。気持ちが通じた喜びに繋がっているようでした。最近は言葉も増えて友達の名前や「入れて」「ちょうだい」等のやりとりや、困っている姿を見ると頭を撫でたりしています。友達と関わる楽しさが芽生えてきているようです。



どんぐり組 (2 歳児クラス)

園庭や室内で色々な運動遊びを楽しんできたどんぐり組。初めは怖くて渡ることが出来なかった太鼓橋も一人で渡れるようになりました。成功するまでの過程で保育士が補助するだけでなく、友達の姿を見て「やってみたい」と刺激を受けたことも大きかったようでした。簡単なルールのある遊びではむっくりくまさんや追いかっこを楽しみ、役割を決めて遊べるようになりました。2～3人の集団で集まり「鬼だぞ」「逃げろー」とやりとりをしながら遊ぶ姿に成長を感じます。これからも友達と一緒に過ごす心地よさを感じられるようにしていきたいです。



もみじ組 (3 歳児クラス)

鬼ごっこやままごと等「一緒にやろう」と友達を誘ったり、「仲間に入れて」と遊びに参加したりと子ども同士で自然と遊びが始まるようになりました。一緒に遊ぶ中で友達の存在が大きくなり、思いがぶつかり合う経験もたくさんしてきました。保育士が仲立ちをし、お互いの思いを伝え合うことを繰り返してきたことで、自分の思いを相手に伝えるだけでなく相手の思いを聞き、どうすればよいのかを少しずつ一緒に考えられるようにもなってきました。これからも遊びを通して、友達との関係がさらに深まっていく子どもたちの姿が楽しみです。



いちよう組 (4 歳児クラス)

好きなことや遊びを自分だけでなく、友達と一緒に考えを伝え合って工夫することを楽しめるようになりました。言葉で伝えることや相手の気持ちを聞くことに様々な葛藤も経験しましたが、自分とは違う考えや思いを知り、友達との繋がりがより深まっていきました。「教えてあげるよ」と制作や新しい遊びを友達同士で教え合う姿もあります。また、ぽぷら組が竹馬や縄跳びをする姿を見て「やってみたい」と挑戦することも増えてきました。「出来るようになりたい」という気持ちがさらなる意欲になり、ぽぷら組になる期待も大きく膨らんでいます。



ぽぷら組 (5 歳児クラス)

ぽぷら組で様々な経験を積み重ねる中で友達との関わりが深まってきました。始めの頃は友達と言ひ合いになってしまうと「もういい」とやめてしまい、解決できずに遊びが進まないことも多くありました。どうしたらいいのか一緒に考え、話し合う機会を多くしてきたことで姿も変化してきました。今では互いにアイディアを出したり、そのアイディアも認めながら遊びを進めたり、子ども同士で話し合って問題を解決することも増えました。1年間を通し、友達の良さを認め励まし合いながら、みんなで力を合わせることの大切さを感じられるようになり、成長を感じます。

